

経営指標を活用した病院の経営改善事例研究

講師密着 セミ形式 短期集中研修

◆開講要領は別紙「実施計画」をご覧ください

開講概要

コース名 講師 実施日 演習テーマ	演習テーマ：病院の経営改善コンサルティング手法・・・経営指標分析を用いて経営課題がどこにあるかを把握し経営改善策を策定する (ワークショップ形式、一部講義)
	講師：医療総研株式会社 代表取締役社長 日本医業経営コンサルタント協会 理事、中小企業診断士 川崎医療福祉大学客員教授、認定登録 医業経営コンサルタント 伊藤 哲雄 氏
詳細は別紙をご参照ください	実施日：令和6年2月2日(金)・3日(土)・4日(日) [3日間連続完結スタイル] 【1日目】12時～18時(6時間) 【2日目】9時～12時(3時間)、13時～18時(5時間) 【3日目】9時～12時(3時間)、13時～16時(3時間)
対象者	当協会会員(個人正会員)
会場	当協会 本部事務局内 会議室(ホスピタルプラザビル5階) https://www.jahmc.or.jp/about_association/jimukyoku/
定員	16名以内(先着受付順)
受講料	60,000円(税込) [注]1日単位での申込はできません。
履修認定	全日程出席で20時間(さらに修了レポート提出により10時間加算) ※令和5年度履修該当
申込締切	令和6年1月26日(金) [注]定員に達した場合は申込みを締め切らせていただきます。
申込方法	会員専用ページからのWeb申込、または別紙の「申込書」に必要事項をご記入のうえFAX送信のいずれかでお申込ください。申込受領後、担当部署より、お申込確認の連絡を差し上げます。
参加者特典	当協会が発行しております「入門医業経営指標」～病院の経営課題がわかる～を贈呈いたします。

<当研修に関するお問合せ先>

(公社)日本医業経営コンサルタント協会
事業部 事業課
直通 TEL: 03-5275-6993
Eメール: kensyu@jahmc.or.jp

実施計画

病院の経営課題を抽出する 課題解決策作成の手法を学ぶ

■コースの名称

経営指標を活用した病院の経営改善事例研究 (ワークショップ形式、一部講義)

メタステージにおける専修領域全体構想と当該コースの関連部分 (●印)					
①制度対応領域	●	②事業戦略領域	●	③組織経営領域	●
④人的資源管理領域	●	⑤応用情報領域	●	⑥計量分析領域	●
⑦戦略財務会計領域	●	⑧課題解決実践力領域	●	⑨思考/創造系メソッド領域	
⑩変革系オペレーションズ領域					

■コースの講師

医療総研株式会社 代表取締役社長、日本医業経営コンサルタント協会 理事、中小企業診断士
川崎医療福祉大学客員教授、認定登録 医業経営コンサルタント 伊藤 哲雄 氏

■コースの目的

少子高齢化の進展による人口減少という大きな課題に直面している医療機関は、さらにコロナ後の緊縮財政、2025年、2040年に向けた医療制度改革、診療報酬・介護報酬のダブル改定など、厳しい環境の中、経営を行っていくことを強いられている。

そういった環境下の医療機関・医業経営に対して、本年度研修では、公開されている公的医療機関および事例で示された病院の財務諸表、経営資源データなどから経営指標分析を行い経営課題がどこにあるかを把握し解決策を模索する。

■コースの演習概要…ワークショップ形式で受講生相互の意見交換を図りながら下記技法を修得

- ・財務諸表より経営指標を分析し、課題を抽出する
- ・非財務指標データも抽出し、財務指標とどのように関わっているかを分析する
- ・病院の経営課題を抽出する
- ・経営改善のための課題解決策の仮設組み立て、課題解決策作成の手法を学ぶ
- ・その他コンサルティングに必要な手法を研修する
- ・抽出した課題、それに対する改善策などをグループ内で的確にまとめ、発表する

■コースの到達目標

- ・財務諸表知識、医業経営に関する各種指標の知識を修得する
- ・公開されている公的病院の経営指標の分析、時系列の変化などを修得する
- ・事例として出されている民間病院の経営課題を経営指標より紐解き、課題解決策を提言する
- ・2024年診療報酬改定、介護報酬改定、医療計画策定などの内容を把握し、今後の医業経営の方向性を把握する

■コースの進め方

日程	開始・終了の時刻	時間	講義演習の内容	
1日目	12:00～13:00	1時間	オリエンテーション (参加者紹介、講義進行概要説明)	
2月2日 (金)	13:00～18:00	5時間	基本講義: 医療制度改革・診療報酬を見据えた病院経営改善、医業経営指標解説、本ステージの狙い&資料説明	
2日目 2月3日 (土)	9:00～12:00	3時間	前回資料等の確認、課題抽出(資料分析)、質疑	ワークショップ
	13:00～18:00	5時間	課題抽出 (資料分析・仮説設定)	
3日目 2月4日 (日)	9:00～12:00	3時間	課題分析・抽出、分析まとめ、改善策討議	
	13:00～16:00	3時間	課題分析まとめ、改善策策定・発表準備、発表	
計	3日間	20時間	※研修後、修了レポート(テーマ等は別途指定)提出により、履修時間を10時間加算	



<申込書>

FAX 03-5275-6991

申込締切

1/26(金)

※定員に達した場合は
締め切ります。

フリーコール：0088-21-6996/TEL：03-5275-6996

(公社)日本医業経営コンサルタント協会 事業部事業課 行

令和5年度(令和6年2月)「応用・実務研修」(メタステージ)

“経営指標を活用した病院の経営改善事例研究”

テーマ「病院の経営改善コンサルティング手法・・・経営指標分析を用いて経営課題がどこにあるかを把握し経営改善策を策定する」

会員 No.		電話	
氏名			
連絡先 (住所・所属等)	※当協会の登録通信先と異なる場合のみお書きください。 〒		

【個人情報の取り扱いについて】

本研修のお申込みにより取得した個人情報は、本研修運営にのみ使用し、事業終了後速やかに消去いたします。また、当協会個人情報保護方針に基づき利用し、安全かつ厳密に管理します。詳細は当協会ホームページのプライバシーポリシー (<https://www.jahmc.or.jp/privacy/>) をご確認ください。

合計受講料：60,000円(税込)

- ・会員専用ページにログイン後 Web 申込みするか、この用紙を FAX 送信にてお申込ください。
担当部署より、お申込確認のご連絡を差し上げます。

【受講料のお振込みについて】

- ・原則として、下記のいずれかの口座にお振込みのうえ、下記情報と共にお申込ください。
- ・振込済み受講料は、事前に受講キャンセルの連絡がある場合に限り、返金いたします。
- ・請求書や領収書をご希望の場合は、お手数ですが、当協会事務局担当部署までお知らせください。

振込予定のいずれかの口座を○で選んでください。【必須】

お振込みの際は、通信欄で受講者の会員番号・お名前・研修月日をお知らせください。

A 郵便振替口座	B ゆうちょ銀行	C 三菱UFJ銀行
00140-8-549669	0一九(ゼロイチキュウ)店 当座預金口座 0549669	市ヶ谷(イチガヤ)支店 普通預金口座 0524761

【口座名】公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会

振込日(予定) 【必須】	令和 年 月 日
振込人名義 【必須】	
その他ご連絡事項	

メタステージとは

ハード>ソフト>メタ 各ステージのちがい

- 大きく成長するために、「最も負荷の高い学び」としてメタステージを選ぶ
混迷の時代、コンサルタントは、外部環境の変化に対応するだけにとどまらず、主体的・自律的に働きかける姿勢・能力が求められるようになっていきます。
- 最大限に「学び合い」の場を活用することが、大きな成長につながる
キャリアの選択肢を広げたい、今までと違うことをやってみたい、自らの意思と力で課題を解決していくための有効な手段の一つがメタステージの学びです。
- 誰もがどこでも「使える」知識を身につけられる
好奇心があり、学んだ内容を実務に結び付けようと、学んだことを意識して「こうかな？ ああかな？」と仕事で試してみることで実践力は磨かれるのです。
- 最大の収穫は、「ポータブルスキル」が身につくこと
自分のスキルを役立つように、世の中の流れに合わせてアップデートする、つまり素早く学ぶ力や、学びを習慣化できる能力が、それを可能にしてくれます。

【語意】【カテゴライズ】(categorize)分類すること。枠組みに入れること。

【語意】【ステージ】(stage)物事の段階。進行分類の単位。

【語意】【実践】(じっせん)実際の状況のもとでそれを行うこと。

【語意】【実務】(じつむ)実際の具体的な仕事。

【語意】【ハード】(hard)明示的なもので、論理的な伝達・表現手段によって伝達することが可能なもの。

【語意】【セオリー】(theory)理論。個々の現象を法的、統一的に説明できるように筋道を立てて組み立てられた知識の体系のこと。

【語意】【ナレッジ】(knowledge)知識。経験・事例などを集めて体系化した、組織にとって有益な情報のこと。

【語意】【プロトタイプ】(prototype)原型。後での改良を見込んで、その仕事をする大筋として作る最初の模型。

【語意】【メタ】(meta-、μ ε τ ᾱ-)ギリシャ語における、「高次の～」「超～」「～を含む」「～の間の」「～についての」というような意味で使われる接頭辞。「メタスキル」とは、ハードスキルとソフトスキルを「繋ぎ、越える」という援用から、「スキルを使いこなすスキル」と定義されている。

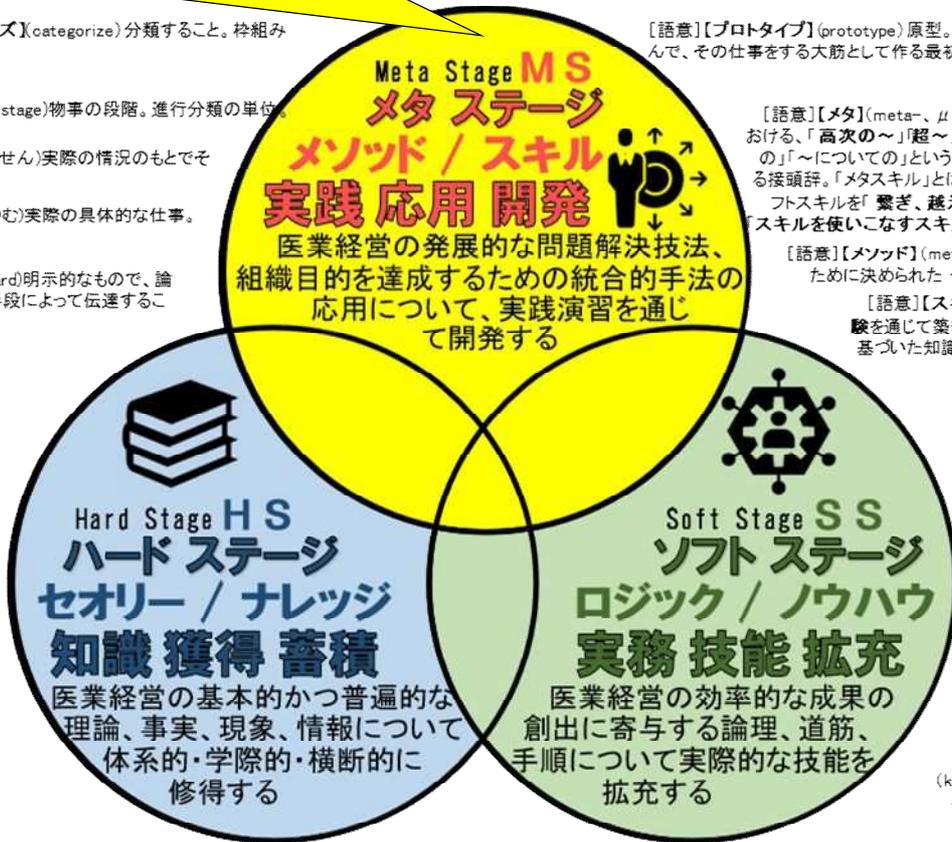
【語意】【メソッド】(method)目的を達成するために決められた やり方。方法。方式。

【語意】【スキル】(skill)訓練や経験を通じて築き上げる深い理解に基づいた知識・技術。技能とほぼ同義で用いられる。

【語意】【ソフト】(soft)経験的に使っている知識だが簡単に言葉で説明できない知識のことで、経験知と身体知の中に含まれている概念。

【語意】【ロジック】(logic)論理。自分の考えや議論などを進めていく筋道。思考や論証の組み立て。思考の妥当性が保証される法則や形式のこと。

【語意】【ノウハウ】(know-how)ものごとの手順や方法の知識



メタステージでは・・・

目標共有
参画原理
相互研鑽

- 自らが自らのために学ぶ場と位置づけるスタイルで、個別の問題意識にも対応
- スキル修得のために、互いに高めあう場を共同して作り上げる研修とする
- 参加者は、受講者でありながら運営者でもありアドバイザーでもある
- 参加者それぞれが、ある程度の役割を分かちあう姿勢で取り組む



メタステージの特徴

- 講師密着ゼミ形式**
知的に成長する場を創り 原理原則を徹底解説
- 少人数で短期集中**
3日間で計20時間 主体的・対話的で深い学び
- 全員参加/相互研鑽**
誰もが主役・互いが高め合い一緒になって切磋琢磨
- 理論+手法=融合**
新たに獲得した知識を応用する手法を身につける実践体験型
- 最大限に能力を発揮できる場**
「直感」や「方法論」までパッケージで磨く
- 自ら学ぶ力+組織を変える力**
どこでも活かせるスキル+変化にも恐れず立ち向かえる自信

メタステージの効用と成果

- 自ら能動的に深い学びを得られる
- 思考力や対話力が鍛えられる
- 知識の有意義な適用ができる
- 考えること、話し合うことの習慣化
- たゆまぬ学習への動機付け
- 合意形成・問題解決力が高まる
- 新たな課題への気づきが生まれる
- 仕事のやりがいと関係性の向上

メタステージとは

ハード\ソフト\メタ 各ステージのつながり



VUCA (変動性・不確実性・複雑性・曖昧性) による環境が目まぐるしく変化し、先行きが不透明な時代に求められる組織
組織を取り巻く環境が複雑な変化をしている昨今、組織づくりの現場では対話型組織開発などの進歩的な組織論が注目され、従来型の組織の枠組みに囚われないさまざまな実践例が出てきています。これは、過去支配的であった中央によるプランニングとコントロールに基づくマネジメントの手法が機能しなくなり、現場の一線で働く者が複雑に変化する状況に対し自ら主体的に考え、行動することが必要となる事業環境が増えていることと表れとも言えます。そのような事業環境の中で、それぞれの組織や人が、その持てる力を最大限発揮するために必要なものは何でしょうか。それは、能力のさらなる向上と共に「気づき」の状態を継続的に高め伸ばし続ける力だと言われています。現場や経営者の気づきが狭いと間違った課題設定をしてしまいがちです。また、一人や一部の気づきの範囲では、複雑な変化の全体像を捉えることは自ずと限界があります。組織のメンバーが互いに関わり合い、気づきの幅を広げ、共に現実や未来の意味を語り合うことで、VUCAの衝撃に耐え、変化に適応し、自分たちの力で進化し続ける集団を築くことが求められています。

メタステージの概念と応報

